

30年1月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成30年 1月4日～ 30年1月15日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は4社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/1月	2月	3月
入荷動向	国産材	△ 37.5	△ 12.5	0.0
	外材	0.0	△ 33.3	△ 33.3
在庫動向	国産材	0.0	0.0	0.0
	外材	0.0	0.0	0.0

・国産材ラミナの入荷動向は1月、2月の減少から、3月は横ばいに。外材は1月の横ばいから2月、3月は減少に。

・ラミナの在庫動向は国産材、外材とも3カ月連続横ばい推移。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	30/1月	2月	3月
国産材	16.7	16.7	16.7
欧州材	25.0	25.0	25.0
その他	—	—	—

・ラミナの入荷価格は国産材、欧州材ともやや強含み。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

・コメントなし

(ラミナ価格動向)

・コメントなし

30年1月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/1月	2月	3月
生産動向	国産材	0.0	△ 25.0	△ 25.0
	WW集成管柱	0.0	△ 33.3	△ 16.7
	RW集成平角	16.7	△ 16.7	△ 16.7
	米マツ集成平角	0.0	△ 75.0	△ 50.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	0.0	△ 25.0	△ 12.5
	WW集成管柱	△ 16.7	△ 33.3	△ 33.3
	RW集成平角	16.7	△ 33.3	△ 16.7
	米マツ集成平角	△ 25.0	△ 75.0	△ 50.0
	WW集成平角	—	—	—

・構造用集成材の荷動き動向は国産材、WW集成管柱、米マツ集成平角とも1月の横ばいから2月、3月は減少に。RW集成平角は1月の増加から2月、3月は減少に。

・国産材の出荷動向は1月の横ばいから2月、3月は減少に。WW集成管柱、米マツ集成平角は3カ月連続減少。RW集成平角は1月の増加から2月、3月は減少に。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	30/1月	2月	3月
スギ集成管柱	16.7	16.7	16.7
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成土台	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成土台	0.0	0.0	0.0
WW集成管柱	0.0	0.0	0.0
RW集成平角	50.0	25.0	25.0
米マツ集成平角	0.0	50.0	0.0
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	—	—	—

・スギ集成管柱はやや強含み。

・ヒノキ集成柱・土台角、カラマツ集成土台、米ヒバ土台角は3カ月連続横ばい推移

・RW集成管柱、米マツ集成平角は強含み。

モニターからのコメント

(構造用集成材の荷動き)

- ・コメントなし

(構造用集成材の出荷価格動向)

- ・コメントなし